日本の農業経営についてあなたと一緒に考えたい

Paddy

【パディ】2015 春号 vol.52

150 years

BASF
We create chemistry

BASFは今年創立150周年を迎えます。

手塩にかけて、より良い商品を。品質の良いももを作るためには、カスケードが欠かせません。

天川（てかわ） 徹さん（37歳）

果物王国・山梨県の中でも、「日本一の桃源郷」としてその名が知られる笛吹市。笛吹川周辺の扇状地は生産量日本一を誇るももの一大産地になっています。今回は、市内の御坂町で若いチカラとして活躍する天川徹さんを訪問。カスケード乳剤が害虫防除でどのようにお役に立っているのかをお聞きしました。

もも、すもも、多種多彩。愛情をこめて作っています。

就農10年目。一度は会社員としての道を歩むも脱サラし、実家のもも園を継いだと言う天川さん。「この仕事に就いたきっかけは、両親が地域に先がけて宅配販売を始めたことが大きいです。収益についてはもちろんのこと、手塩にかけて作ったものを出荷するだけではなく、商品として自ら販売することで、よりお客さんが求めるもも作りができるんじゃないか。そんな魅力を感じたんです」。

天川農園では、60ａの園地で10品種のももを生産。6月下旬の極早生「ちよひめ」にはじまり、「浅間白桃」や「なつっこ」等の中生種を経て、9月上旬の晩生種「さくら白桃」まで出荷がつづきます。さらには、50ａの園地で5品種のすももを生産。なかでも「貴陽」や「太陽」は高級フルーツとして知られる希少品種で、贈答用として人気も高いそうです。また、天川農園では特製ジャムなどの加工品も手がけており、宅配をはじめ直売所での販売も積極的に行っています。

「品種選びは、まさに勝負です。『桃栗三年、柿八年』と言いますが本当にその通りで、流行りだしてから植えだしても、商品になるのは早くて3年後。売れる品種をいかに早く取り入れて、上手に作るか。その駆け引きが面白いところですね。地道な努力と的確な判断こそが、収入面での良い結果につながるんです」。

葉っぱを長く守れて、安心。すももへの登録も助かります。

品質の良いもも・すももを作るため、天川さんは地元ＪＡの推奨する防除暦に従ったローテーション散布を欠かさず実行。害虫の発生を防ぐために、細心の注意を払っています。

「なかでも注意すべきは、5月下旬頃から発生し、食害でももの葉っぱを落としてしまうモモハモグリガ。葉っぱがないと光合成ができず、実が大きくならないので、かじられないようにしっかり守ってあげないといけません」。

だからこそ、その時期の防除は必須。カスケード乳剤の散布は「怖いから抜けませんね」と、言葉を強める天川さん。

「モモハモグリガの第1世代が発生する前に、予防的に叩いておく。その大切な役目がカスケードにはあります。出始めをしっかり抑えておかないと、第2・第3世代が出てきてしまいますからね。さらにカスケードの良いところは、残効性が長いこと。遅れて卵から孵った幼虫にも効くから安心なんです」。

さらに天川さんは、2012年8月の適用拡大で、カスケードがすももの登録を取得したことも評価します。

「ウチの農園もそうですが、この御坂町周辺ではすももを作っている生産者が多く、薬剤を散布する際は、隣接園へのドリフトに気をつけないといけません。だから、カスケードがももとすももの両方で使えるようになって、本当に便利になりました」。楽しそうに話す天川さんの笑顔が印象的でした。

読者プレゼント

「天川農園の貴陽（8〜10個入り）」を5名様にプレゼント！

締切：平成27年5月15日
当日消印まで有効

本ページに掲載されています、天川農園で丹念に愛情をこめて育てた「貴陽」をプレゼント！「貴陽」はすもも生産量日本一の山梨県で生まれた最高級の品種です。通常のすももより大きく、300gを超すものもあります。天川農園では完熟に近い状態で収穫を行いますので、甘みと酸味のバランスが抜群な感動の味わいを、是非ご賞味ください。たくさんのご応募お待ちしております。

■応募方法：官製ハガキに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、職業、栽培作物、Paddyへのご意見・ご感想、希望賞品をお書きの上、下記宛先までご応募ください。FAXでもご応募頂けます。なお当選発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。
〒106-6121　東京都港区六本木6丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー21階
BASFジャパン株式会社 農薬事業部 Paddy「貴陽」プレゼント係　FAX番号：03-3796-9419
※個人情報は、弊社の個人情報保護規定に従い厳重に管理いたしております。第三者への開示・譲渡・貸与などは行いません。

もも作りに、人一倍のこだわりを。信頼できる薬剤のひとつとして、カスケードは長く愛用しています。

清水 克己さん(64歳)

甲府盆地東部の塩山地区は、日当りのよい傾斜地と
水はけのよい土壌を利用した果樹栽培が盛んです。
壮大な盆地のパノラマと、南アルプスの峰々を遥かに望む
奥野田集落で、もも作りに携わっておよそ半世紀。
ベテラン生産者の清水克己さんをお訪ねし、
カスケード乳剤についてのお話をうかがいました。

ももの樹との毎日の会話が、甘みと旨みを生みだす秘訣。

約110aの園地でももの栽培に励む奥野田集落の清水さんは、近隣で有名なもも作りの名人です。

「〝生き物〟が相手なので、まだまだ毎日が勉強です」と照れくさそうな笑顔を見せる清水さん。可愛がって育て上げたももには、甘みだけでなく旨みがある。そんなもも作りの秘訣を訊くと、何事にも手を抜かないこと、という答えが返ってきます。

「剪定し、蕾を落として、花を摘み、受粉させ、摘果をして、要所々々で薬剤を散布して、袋をかけて、除袋して、シルバーマルチを敷いて、収穫して…。同じ手をかけるなら、自信をもって出荷できるようなももを少しでも多く作りたいですね。楽ばかり求めていては、決して良いものは出来ません」。かといって、栽培技術や営農指導の通りにやろうと、焦ったり急いだりする必要もない、と続けます。

「真剣に取り組んでいれば、ももの樹自身が何をすべきか教えてくれるもの。ただ毎日向きあって、樹が育ちやすいようにしてやればいい。決して無理強いをせず、『そっちの方向に成長すると良くないよ』と手助けをしてやるだけです。人間の子供を育てるのも同じですね。やるべきことをやっていれば後悔しないし、もしそこで上手くいかなくても、その経験はいつか役に立つはず。失敗があるからこそ、次の成功につながるんです」。

幼虫に対して顕著な効果を示し、残効性に優れ、綺麗なもも作りに貢献します。

そんな清水さんのこだわりは、農薬散布でも発揮されます。

「昔と違って今は、収穫前日でも使える安全な薬剤が増えました。ですが私は、除袋した後のももには収穫まで一切薬剤をかけたくありません。見た目が綺麗で、味も美味しく、安心して食べられるももを作るために、できるだけ減農薬を意識した栽培を心がけているんです」。

だから、袋かけまでの段階でしっかり防除しておくことを第一に考えている、と清水さん。防除はタイミングが重要だと言います。「薬剤は必要以上に使いたくないので、地元JAの防除暦の中から必要と判断したものだけを使っています」。

その薬剤の一つとして、カスケード乳剤は5月下旬のモモハモグリガとハマキムシ対策で重要な役割を担っています。

「カスケードは、過去に3年連続でモモハモグリガが大発生して問題になった後、防除暦に採用されました。それ以来、重宝していますよ。モモハモグリガの卵から孵った幼虫に脱皮阻害効果で効くのがいいですね。しかも効果が長くつづいてくれるから、葉にかかっていれば、世代がバラバラに発生しても対応できます。だいぶ助かっています」。

品質へのこだわりを持ち、そのための労を惜しまず、厳選した資材を最大限に活用する。そんなもも作り名人、清水さんのお眼鏡にかなう薬剤として、カスケードは、長く愛用していただいています。

読者プレゼント

JAフルーツ山梨のももを5名様にプレゼント!

締切:平成27年5月15日
当日消印まで有効

今号の取材先、山梨県はフルーツ王国。その土地で「もも」は200年前から栽培されていました。緩やかな傾斜で水はけがよく、土壌や気候が「もも」栽培に最適です。ここで多くの品種が開発され大切に育てられています。今回はJAフルーツ山梨から旬のももを厳選してプレゼント。是非この機会にご賞味ください。ご応募お待ちしております。

※写真はイメージです。

■応募方法:官製ハガキに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、職業、栽培作物、Paddyへのご意見・ご感想、希望賞品をお書きの上、下記宛先までご応募ください。FAXでもご応募頂けます。なお当選発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。
〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー21階
BASFジャパン株式会社 農薬事業部 Paddy「もも」プレゼント係
FAX番号:03-3796-9419

※個人情報は、弊社の個人情報保護規定に従い厳重に管理いたしております。第三者への開示・譲渡・貸与などは行いません。

YUISAI ベジフルカフェ

殿倉 由起子さん　　下井 泉さん

「YUISAI」の活動内容はこちらでご覧いただけます。
https://www.facebook.com/vege.fru.yuisai

アスパラで疲労回復！

春の訪れをつげる野菜のひとつといえばアスパラガス。九州から始まり、長野、北海道まで産地リレーは続きます。

日本での栽培は明治時代に缶詰用のホワイトアスパラから始まりました。今ではグリーンが主流ですが、他にも生でもおいしい紫のアスパラも出回っています。

春のアスパラはとにかく柔らかくて甘いのが特徴。収穫したてのアスパラは水が滴るほどに瑞々しく、生でも食べられます。アスパラは劣化が進むのが早いため、購入したらなるべく早くいただきましょう。

目利きポイントは穂先がぎゅっと締まっていて、ハカマが綺麗な正三角形をしたものを選ぶこと。購入したら立てて冷蔵庫で保存。横にしておくと上に向かって曲がってきてしまいます。

アスパラに含まれる栄養素で特徴的なのはアスパラギン酸。名前の通りアスパラに多く含まれる疲労回復物質です。

オススメレシピはアスパラのインボルティーニ（肉巻き）。豚モモ肉のスライスに塩胡椒をしてアスパラとモッツァレラチーズを巻きます。小麦粉をまぶしてフライパンで焼き色がつくまで焼いたら、白ワインを加えて蒸し焼きに。トマトソースを加えて絡めたら出来上り。

春は新しいスタートで疲れもたまりやすい季節。アスパラを食べて元気に乗り切りましょう。

今回のUser's Voiceより「桃」

あま〜くジューシーでとろけるような桃。甘いわりに低カロリー。お風呂あがりの軽く冷やした桃は最高です。そんな桃の主成分は果糖。すぐにエネルギーとなるので疲労回復に即効性があるのだとか。また女性にうれしい要素もいっぱい。整腸作用・便秘解消に効果があるとされる食物繊維、冷え症を軽くし、血行をよくする鉄分、マグネシウム、ビタミンE、むくみを解消してくれるカリウム、抗酸化作用のビタミンC…どれも美肌に繋がります。

カリウムは血圧を下げる効果があるとされ、ナトリウムを摂りすぎている日本人は意識して摂りたい栄養素。

そんな魅惑いっぱいの桃の季節はもうそこに。冷やしすぎると甘みが飛んでしまうので、食べる前に少し冷やしてどうぞ!

BASFは2015年に創立150周年を迎えます。

BASFの歴史は、1865年4月6日バーディシェ・アニリン・ウント・ソーダ・ファブリック社の名で株式会社を設立し、『インディゴ・ピュアBASF』などの化学染料から始まり、その10年後には肥料を作るためのアンモニア、そしてプラスチックの製造に続いています。それ以降、BASFのポートフォリオは絶え間なく拡大され、現在では化学品、プラスチック、高性能製品、農業関連製品から石油・ガスと多岐にわたっています。BASFはほぼすべての産業のお客様に製品やソリューションを提供し、研究やイノベーションを通じてお客様を支援しています。

これからも「We create chemistry（私たちは化学でいい関係をつくります）」という企業戦略に基づき、新たなアプローチを推進してまいります。

BASF ドイツ本社（ルートヴィッヒスハーフェン）

小粒核果類
かき
マンゴー
に適用拡大!

カスケード®乳剤

脱皮阻害型殺虫剤　いろいろな害虫に効く!いろいろな作物に使える!

■適用病害虫と使用方法（果樹のみ抜粋）【色文字が適用拡大部分】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
りんご	ナミハダニ リンゴハダニ	2000倍	200〜700ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	2000〜4000倍					
	ハマキムシ類	2000〜6000倍					
	ヨモギエダシャク	4000倍					
なし	ハダニ類 ハマキムシ類	2000倍					
もも	ハダニ類						
	ハマキムシ類	4000倍					
	モモハモグリガ	2000〜4000倍					
小粒核果類	ケムシ類	2000					
かき	**カキクダアザミウマ**	**2000〜4000倍**					
	カキノヘタムシガ	**4000倍**					
マンゴー	**チャノキイロアザミウマ**	2000倍		**収穫3日前まで**			
ネクタリン	ハダニ類			収穫21日前まで			
	ハマキムシ類	4000倍					
	モモハモグリガ	2000〜4000倍					
おうとう	ハマキムシ類 ヒメシロモンドクガ	4000倍		収穫7日前まで			
かんきつ	ミカンハモグリガ チャノキイロアザミウマ ミカンサビダニ	2000〜4000倍					
	ミカンハダニ	1000〜2000倍					

*小粒核果類：うめ・あんず・すもも

呼子（よぶこ）の大綱引き

九州・佐賀県の北西部、東松浦半島の先端に位置する唐津市呼子町。日本三大朝市のひとつといわれる「呼子朝市」では名物のイカをはじめ、とれたての海の幸や山の幸が並び、毎朝多くの観光客で賑わいを見せている。そんな港町に伝統行事の祝い旗でもある「武者幟」が立ち始めると、町民たちの血が騒ぎ、町全体がさらに活気づくという。その伝統行事とは毎年6月の第1土曜日、日曜日の2日間、呼子三神社前の路上で開催される「呼子の大綱引き」のことだ。もともと旧暦の端午の節句に行われ、「菖蒲綱」と呼ばれる九州地方に唯一現存する綱引き行事の典型例として、平成25年には国の重要無形民俗文化財に指定されている。

▲朝市

呼子の大綱引きは400年以上前、豊臣秀吉が朝鮮出兵の際、加藤清正と福島正則、両陣営の将兵たちの士気を鼓舞するため、軍船のとも綱を用いた綱引きが始まりという説がある。現在は町を「浜組（サキカタ）」と「岡組（ウラカタ）」に分け、浜組が勝てば豊漁、岡組が勝てば豊作になるといわれ、制限時間20分3本勝負で長さ約400mある巨大な綱を引き合う。勝敗を決めるのに重要な役割を担うのが中心部の「ミト」だ。長さ約5m、幅約1.5m、高さ約1.5mで稲わらとむしろで幾重にも巻いて作られ、初節句のお祓いや安全祈願の神事もミトで行われる。

1日目は「こども綱」。2日目は迫力あふれる「おとな綱」が行われ、ついに戦の火蓋がヒヤ（煙火）の合図とともに切られた。「ヨイサーヨイサー」の掛け声とドラの音が鳴り響くなか、両組が一心不乱に引き合う姿は想像以上に凄まじい。1戦目は岡組勝利。続く2戦目は浜組勝利。勝敗が決まる3戦目、浜組が連勝。平成26年は浜組の勝利となった。実は大綱引きは観光客の飛び入り参加が可能で、どちらが多く呼び込めるのかが勝負の鍵となる。最初は見物だけと決めていても、見ているうち気分が高揚し、思わず綱を手に取ってしまう人も多い。引き終えた後は勝負に関係なく、清々しい気持ちに浸れるのも、この大綱引きの魅力だ。

▲「ミト」の前で行われる神事

▲大綱の中心部「ミト」

▲武者幟

▲お祭り振興会　久満会長

▲大綱引き 1戦目

「パディ」はBASFジャパンが皆様とのよりよいコミュニケーションのために作成し、無料で配布している情報誌です。農業技術や農薬製品についての情報の提供や、実際に製品をお使いいただいている生産者の方々をご紹介するなど、皆様のお役に立つ内容とするよう努力を続けてまいります。

■2015年4月発行　■編集・発行／BASFジャパン株式会社 〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階 0120-014-660 Fax.03-3796-9419 http://www.agriculture.japan.basf.com